



第7章：chapter 07

次代に向けた方策

1 水道事業ビジョン 2030 の進捗状況

「常滑市水道事業ビジョン2030・経営戦略」令和3年3月策定において、基本理念に基づき「安全」「強靱」「持続」の施策目標と具体的施策を示し、水道事業を運営してきました。

現在の具体的施策の進捗状況を業務指標等で評価します。



久米配水場



中央配水場



熊野配水場

2021～2030年度
基本理念
安全でおいしい水を
次代につなぐ

安全
強靱
持続

2030年度目標
令和12年度

安全

- ①安全な水の提供
- ②災害時の対策強化

【数値目標】給水人口
【基準値】 58,464人（R3年度）
【現況値】 58,458人（R7年度）
【目標値】 59,900人（R12年度）



【数値目標】給水量一日平均
【基準値】 20,993m³（R3年度）
【現況値】 21,478m³（R7年度）
【目標値】 23,001m³（R12年度）



- ①水安全計画の策定と見直し
- ②水質検査計画に基づく水質検査の実施
- ③残留塩素濃度の適正管理・管路のループ化
- ④直結給水方式導入の検討

- ⑤マニュアルの定期更新
- ⑥災害時行動マニュアルの定期更新
- ⑦水道施設台帳の整備
- ⑧関係機関との連携

強靱

- ①老朽施設・設備の更新
- ②基幹管路の更新
- ③重要給水施設管路の耐震化
- ④応急給水体制の充実
- ⑤施設規模の適正化
- ⑥その他の災害対策

【数値目標】配水池耐震化率
【基準値】 93.4%（R3年度）18,500/19,800m³
【現況値】 93.4%（R7年度）6ヶ所7池
【目標値】 R12年度までに1池廃止



【数値目標】基幹管路耐震管率
【基準値】 46.4%（R3年度）
【現況値】 48.1%（R7年度）
【目標値】 R12年度までに54.1%
※φ250以上の配水本管



- ①熊野配水場、大曾ポンプ場、御林ポンプ場、大谷ポンプ場の設備更新
- ②老朽管路の計画的な更新
- ③ポンプ場の加圧区域の見直し

基幹管路耐震工事
④久米配水区、⑤中央配水区、⑥熊野配水区

⑦重要給水施設管路の耐震化

- ⑧災害時重要給水施設への応急給水栓設置
- ⑨応急給水体制の検討

- ⑩熊野配水区域の検討
- ⑪熊野配水池（1,000m³）の廃止
- ⑫熊野配水場進入路の整備

- ⑬液状化地下における配水支管の耐震管路への更新
- ⑭軌道直下管路と水管橋の更新
- ⑮熊野配水場の監視カメラ（ITV）設備の導入

持続

- ①経営基盤の強化
- ②適正な水道料金の確保
- ③有収率の改善
- ④施設更新財源の確保
- ⑤地域連携強化
- ⑥技術力向上
- ⑦環境保全
- ⑧住民サービスに向けた取組

【数値目標】営業収支比率
【基準値】 94.0%（R3年度）
【現況値】 93.1%（R7年度）
【目標値】 109.9%（R12年度）



【数値目標】経常収支比率
【基準値】 117.1%（R3年度）
【現況値】 113.8%（R7年度）
【目標値】 130.4%（R12年度）



- ①給水収益の確保
- ②経常費用の削減
- ③建設改良資金の積立
- ④検針業務等の民間委託

- ⑤適正な水道料金の確保
- ⑥適正な水道料金収納

- ⑦漏水調査の実施
- ⑧塩化ビニル管路（VP）の布設替え
- ⑨給水管事故率の削減

- ⑩アセットマネジメントによる更新事業の平準化
- ⑪管路更新率を0.5%以上とする財源の確保
- ⑫耐震管路の採用、良質地盤におけるダクタイル鋳鉄管路K形継手の更新期間延長
- ⑬ダウンサイジングによる改良資金の削減

⑭近隣水道事業者との連携

- ⑮各種研修会への積極的な参加
- ⑯近隣水道事業者との技術講習会の実施

⑰省エネルギー型機器の採用

⑱ホームページによる情報公開

- ⑲お客様サービスの向上
- デジタル化・ICTの推進

 改善・増加
  低下
  変化なし

業務指標等		備考
給水人口60,600人以内（厚生労働省水道事業認可の数値） 基準値：58,464人【R3年度】 → 58,458人【R7年度】		平成15年度50,858人
給水量一日平均 基準値：20,993m3【R3年度】 → 21,478m3【R7年度】		平成15年度17,836m3／日 平成26年度20,635m3／日
有収率B112 基準値：92.11%【R3年度】 → 91.37%【R7年度】		平成9年度93.6%が最高値 2026年度95% 平成18年度以降92%前後で推移
水安全計画の策定 基準値：着手予定【R3年度】 → 継続PFOS・PFOA調査【R7年度】		令和3年度策定
事業継続計画の策定（水道事業） 基準値：H28策定【R3年度】 → 継続H28策定【R7年度】		県営水道供給100%
水質事故等危機管理マニュアル 基準値：年1回更新【R3年度】 → 継続【R7年度】		平成10年4月から水源長良川・知多浄水場・市が受水 日本水道協会愛知県支部・中部地方支部 県水道南部ブロック協議会（県水・近隣水道事業者） 関係団体と連携して応急給水訓練を実施
常滑市防災計画 基準値：年1回 → 継続 飲料水の確保【R7年度】		
基幹管路の更新（配水本管の耐震管路延長） 基準値：31,729m【R3年度】 → 33,910m【R7年度】		
基幹管路の耐震管率B606 基準値：46.4%【R3年度】 → 48.1%【R7年度】		管路の耐震管率B605 23.3%【R7年度】 管路全体 558,224m 管路全体耐震化130,028m 耐震管の使用状況を表す ○ダクタイル鋳鉄管（耐震継手） ○配水用ポリエチレン管（融着継手） 市役所庁舎飛香台・施設使用権 遠方監視システムをスマホ画面に表示 監視カメラ、草刈機 電子ホワイトボード、ポータブル電源
配水支管の耐震管路延長 基準値：82,090m【R3年度】 → 96,117m【R7年度】		
配水支管の耐震管率 基準値：16.9%【R3年度】 → 19.7%【R7年度】		
重要給水施設管路耐震適合率 基準値：36%【R3年度】9／25箇所 → 72%【R7年度】市民交流センター・鬼崎中18/25		生活基盤施設耐震化等整備計画（管路耐震化） セントレア、消防本部、りんくう病院、青海公民館 三和・常滑東・西小、常滑市体育館、常滑中学校、大曾公園
重要給水施設への応急給水栓設置数 基準値：9件【R3年度】 → 18件【R7年度】		応急給水栓 消防 青海・南陵公民館、三和小、青海、常滑、 南陵、体育館、松原公園、市役所、常滑東、常滑西、小鈴谷 大曾公園、鬼崎南、ポートレースとこなめ
熊野配水池：1,000m3を廃止（1,000m3と5,000m3の2池での運用【H27年度】） →1,000m3運用中【R3年度】 → 1,000m3運用中※進入道路の設計・測量【R7年度】		熊野配水池場設備更新→ダウンサイジング
総費用：（単年度の税抜費用） 基準値：1,260,878千円【R3年度】 → 1,319,535千円【R7年度】		R3年度から約5,866万円増加
受水費：（税抜受水費用） 基準値：520,414千円【R3年度】 → 540,828千円【R7年度】		R3年度比約2,041万円増加・R6年10月水量単価2円値上げ承認 基本給水量24,400m
総収益：（単年度の税抜収益） 基準値：1,476,553千円【R3年度】 → 1,502,920千円【R7年度】		R3年度から約2,637万円増加
給水収益：（税抜給水収益） 基準値：1,140,132千円【R3年度】 → 1,191,550千円【R7年度】		R3年度から約5,142万円増加
漏水調査機器：【H27年度】 →漏水調査委託【R3年度】 → 漏水調査委託【R7年度】		H29管路音圧監視システム、H30R1R2調査、R2災害協定
塩ビ管延長 281,728m【R3年度】 → 273,576m【R7年度】		塩ビ管更新→耐震管（配水用ポリエチレン管）に更新 【R3年度】
検針業務等の民間委託継続：【R3年度】 → 継続【R7年度】		平成30年2月～3年間の検針地区の見直し、R2全地区 平成30年6月窓口受付業務委託の開始
経営指標①営業収支比率C101：（営業収益／営業費用） 基準値：94.0%【R3年度】 → 93.1%【R7年度】		水道事業の財務の健全性を 経営指標①～⑦によって明確化する 費用抑制と適正な料金収入を確保する
経営指標②経常収支比率C102：（経常収益／経常費用） 基準値：117.1%【R3年度】 → 113.8%【R7年度】		純利益 215,675千円【R3年度】 183,386千円【R7年度】
経営指標③累積欠損金比率C104：（総収益／総費用） 基準値：0%【R3年度】 → 0%【R7年度】		欠損金なし
経営指標④流動比率C118：（流動資産／流動負債） 基準値：330.0%【R3年度】 → 328.1%【R7年度】		資金残高期末預金 1,461,067千円【R3年度】 1,134,805千円【R7年度】
経営指標⑤給水収益に対する企業債残高の割合C112 基準値：59.3%【R3年度】 → 31.6%【R7年度】		企業債期末残高 675,786千円【R3年度】 376,896千円【R7年度】
経営指標⑥料金回収率C113：（供給単価／給水原価） 基準値：119.8%【R3年度】 → 114.7%【R7年度】		水道事業の経営状況の健全性を表す 独立採算を基本・適正な料金収入を確保
経営指標⑦給水原価（円／m3）C115：（1m3あたりの費用） 基準値：134.8円【R3年度】 → 145.0円【R7年度】		有収水量 7,057,695m3【R3年度】 7,163,378m3【R7年度】
経営指標⑧供給単価（円／m3）C114：（1m3あたりの給水収益） 基準値：161.5円【R3年度】 → 166.3円【R7年度】		給水原価＝経常費用（受託工事費等を除く）／有収水量 供給単価＝給水収益／有収水量

2 安全面における実現方策

安全

基本方針

いつでも、どこでも、おいしい水を飲むことができる水道

(1) 安全な水の提供 【施策目標1-1】

実現方策

- 水安全計画は、水源から給水栓に至る各段階で危害評価と危害管理を行い、安全な水の供給を確実にするシステムを構築するものです。水安全計画策定によって、水質管理や水質事故への対応を適切に行います。
- 毎年水道水質検査計画を策定し、水質検査を実施することにより安全な水の確保に努めます。
- 水質管理では、浄水場・配水場から給水栓に至るまで安全な水を提供できるようにします。
- 給水区域の末端の残留塩素濃度の管理に留意します。
- 配水管では、水の停滞を防ぐため、管路のループ化を進めます。
- 受水槽の設置、給水方式の選定には、災害時・緊急時の水の確保を含め検討を促します。

具体的施策1-1-1 水安全計画の策定と見直し

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

具体的施策1-1-2 水質検査計画に基づく水質検査の実施

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

(2) 災害時の対策強化 【施策目標1-2】

実現方策	
●	「水質事故等危機管理マニュアル」と「ポンプ修理マニュアル」は、定期的に見直し、年々変化する社会情勢に対応します。
●	「常滑市水道事業地震対策マニュアル」には、毎年実施している防災訓練の反省点を踏まえ、課題点等を修正し、毎年マニュアルの見直しを実施します。
●	水道施設を適切に管理するための水道施設台帳を随時更新します。
●	災害時における応急給水、応急復旧及び物資の調達等のために、「水道災害相互応援に関する覚書」や「災害時の水道事業支援協力に関する協定書」を関係機関と結んでおり、今後も連携を強化します。



具体的施策1-2-5 マニュアルの定期更新

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

具体的施策1-2-6 地震対策マニュアルの定期更新

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

具体的施策1-2-7 水道施設台帳の整備

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

具体的施策1-2-8 関係機関との連携強化

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

3 強靱面における実現方策

強靱

基本方針

被災を最小限にとどめるしなやかな水道

(1) 老朽施設・設備の更新 【施策目標2-1】

実現方策

- 熊野配水場、大曾・御林・大谷ポンプ場は、機械・電気設備の更新基準年数が経過していることから更新を予定します。
- 老朽管路の更新は、平準化を図り、計画的な整備を進めます。
- 布設替えが困難な配水管路においては、バイパス管路の構築を検討します。
- 配水池の運用水位の変更により、ポンプ配水区域を縮小など、効率的な配水を目指し、施設の廃止や規模の見直しを図ります。

具体的施策2-1-1 熊野配水場、大曾ポンプ場、御林ポンプ場、大谷ポンプ場の設備更新

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→
関連業務指標										

具体的施策2-1-2 老朽管路の計画的更新

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→
	27.8%	29.4%	30.5%	31.0%	32.9%					
関連業務指標	B503 法定耐用年数超過管路率 %									

具体的施策2-1-3 ポンプ場の加圧区域の見直し

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→
		大曾			前天神					
関連業務指標	加圧区域縮小									

(2) 基幹管路の更新 【施策目標2-2】

実現方策

- 久米配水区は、配水場と結ぶ基幹管路を優先的に整備します。
- 中央配水区は、老朽管の廃止、基幹管路の耐震化を図ります。
- 中央配水区と熊野配水区を連絡する管路を整備します。

具体的施策2-2-4 久米配水区…基幹管路耐震化工事 基幹農道（φ300）はじめ4路線

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

具体的施策2-2-5 中央配水区…基幹管路耐震化工事 市道瀬木線（φ400）はじめ4路線

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

具体的施策2-2-6 熊野配水区…基幹管路耐震化工事 中央熊野連絡管（φ300）はじめ2路線

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

関連業務指標 B606 基幹管路・配水本管の耐震管率 %

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	46.4%	47.1%	47.4%	47.8%	48.1%					



大曾公園の応急給水栓（地上式）



常滑市役所の応急給水栓（地上式・給水車用）

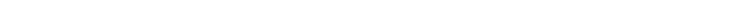
(3) 重要給水施設管路の耐震化 【施策目標2-3】

實現方策

- 重要給水施設は、25箇所を指定し管路の耐震化と応急給水栓の設置をします。
- 重要給水施設管路は、災害時の給水を確保するために、優先的に耐震化を進めます。

■能登半島地震の教訓から災害対策強化を図るため重要施設として82箇所を指定

具体的施策2-3-7 重要給水施設管路耐震化工事11路線

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
										
関連業務指標										



久米配水場

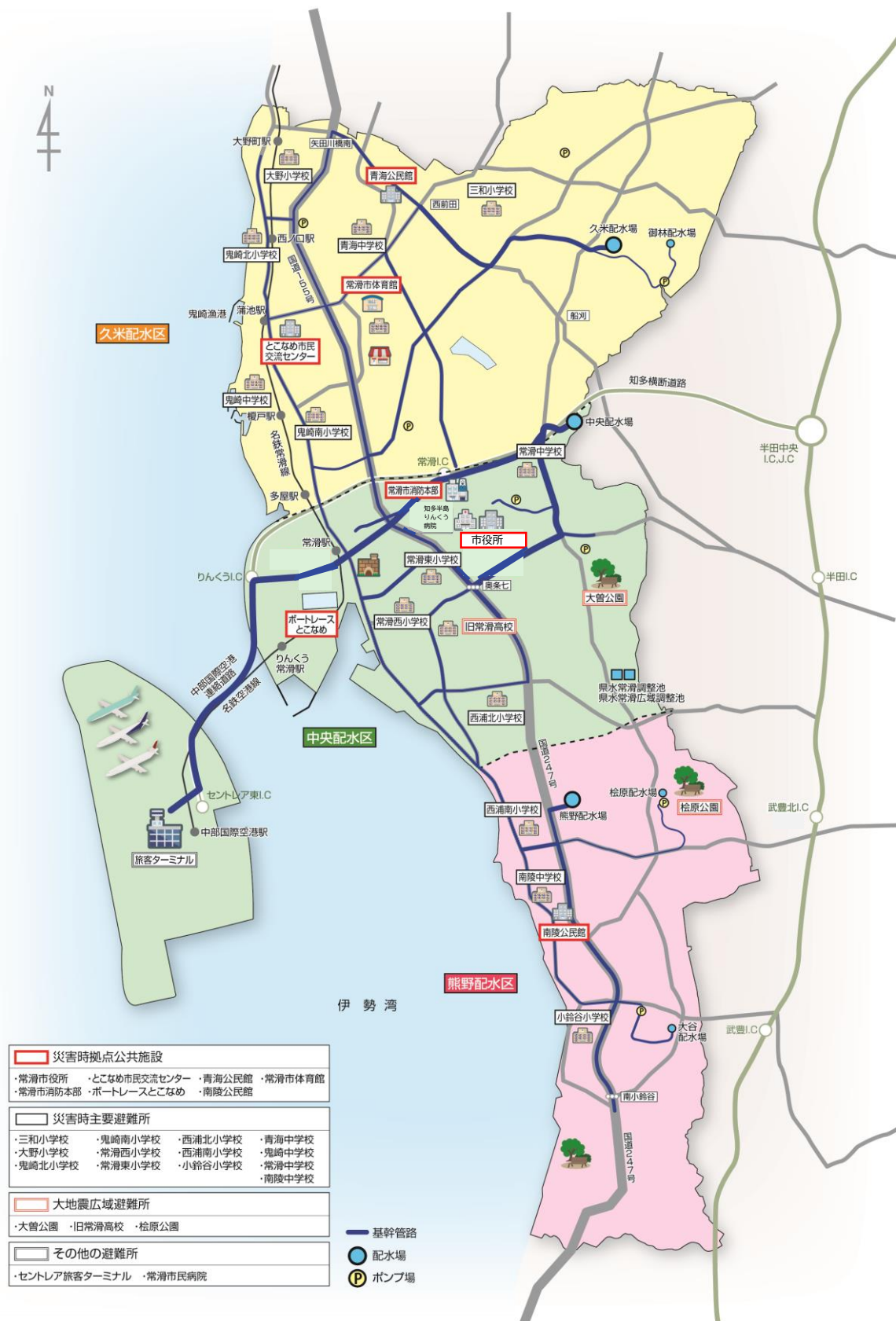


重要給水施設（常滑市体育館）



常滑市体育館の応急給水栓（地上式）

図7-3-1 重要給水施設配置図



（４）応急給水体制の充実 【施策目標２－４】

実現方策

- 災害時重要給水施設には、応急給水栓（地下式・地上式給水栓）を設置します。
- 災害に備え愛知県営水道送水管の応急給水栓（10箇所）を点検します。

具体的施策2-4-8 災害時重要給水施設への応急給水栓設置 25箇所の内：設置済み箇所数

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	9箇所	13箇所	14箇所	16箇所	18箇所					

具体的施策2-4-9 応急給水体制の検討

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年



常滑東小学校：応急給水栓の設置状況（地上式）



給水車災害支援：石川県の病院・受水槽への加圧給水



訓練：応急給水栓と仮設給水栓（蛇口）と連結



運搬給水：給水コンテナ500ℓから給水袋6ℓに給水

(5) 施設規模の適正化 【施策目標2-5】

実現方策	
● 熊野配水区は、貯留能力に余力があることから、配水区域の拡張を検討します。	
● 熊野配水場の1,000m ³ 配水池は、空水時に耐震性がなく、配水量に対し施設規模が大きいことから廃止とします。	
● 熊野配水場内5,000m ³ 配水池の設備・管路の更新時に代替施設として必要となることから、有効活用を図ります。	
● 熊野配水場の施設改善として、進入路の整備を検討します。	

具体的施策2-5-10 熊野配水区域の検討

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

具体的施策2-5-11 熊野配水池（1,000m³）の廃止

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
										←→

具体的施策2-5-12 熊野配水場進入路・場内道路の整備

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→



熊野配水場

(6) その他の災害対策 【施策目標2-6】

実現方策

- 配水支管は、耐震管路への更新を実施します。
- 老朽化した軌道直下管路と水管橋の点検を実施して修繕します。
- 熊野配水場の設備更新に合わせ、監視強化を図ります。

具体的施策2-6-13 配水支管の耐震管路への更新

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	2,906m	5,403m	4,006m	2,604m	2,606m					

具体的施策2-6-14 軌道直下管路と水管橋の更新

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

具体的施策2-6-15 熊野配水場の監視カメラ（ITV）設備の導入

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年



水管橋（久米配水区）



監視カメラ（久米配水場）

4 持続面における実現方策

持続

基本方針

健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

(1) 経営基盤の強化 【施策目標3-1】

実現方策

- 水道の安定経営のために、収益的収支の改善を図り適正な財源確保に努めます。
- 水需要の動向を注視し、給水収益の確保を検討します。
- 将来的な施設更新に備え、純利益による建設改良積立金を確保します。
- 業務の効率化を図り、営業収支の改善に努めます。
- 窓口業務や検針業務など民間委託を継続します。

具体的施策3-1-1 給水収益の確保

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	117.1%	116.0%	112.8%	117.2%	113.8%					
関連業務指標	経常収支比率 %									

具体的施策3-1-2 建設改良資金の積立 (建設改良積立金への積立額：百万円)

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	894	156	216	198	223					

具体的施策3-1-3 経常費用の削減

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	94.0%	93.5%	90.4%	96.3%	93.1%					
関連業務指標	営業収支比率 %									

具体的施策3-1-4 窓口受付・検針業務等の民間委託

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

(2) 適正な水道料金の確保 【施策目標3-2】

実現方策

- 水道事業経営に必要な資金確保のため、資産維持費を考慮した適正な水道料金について検討を進めます。
- 水道料金を適正に収納するために、収納手段を拡充して利便性の向上に努めます。

具体的施策3-2-5 適正な水道料金の確保（給水原価＜供給単価）

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
実施期間	119.8% 162円 135円	118.3% 162円 137円	114.4% 164円 143円	119.4% 167円 140円	114.7% 166円 145円					
関連業務指標	C113 料金回収率 % 供給単価(円)有収水量1m3当たりどれだけの収益を得ているかを示す 給水原価(円)有収水量1m3当たりどれだけの費用を要しているかを示す									

具体的施策3-2-6 適正な水道料金収納

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
実施期間	98.7% 98.7%	99.0% 99.0%	98.5% 98.5%	98.7% 98.7%	98.8% 98.8%					
関連業務指標	C126 料金収納率 %									



前天神ポンプ場 2025.4月ポンプ停止し自然流下に変更

(3) 有収率の改善 【施策目標3-3】

実現方策

- 有収率改善のために、衛星データ、AI解析を用いた漏水調査及び音聴調査を実施し、漏水量の削減に努めます。
- 水道事業用水（洗管水など）、削減に努めます。
- 塩化ビニル管（VP）は、水道配水用ポリエチレン管（HPPE）への更新を進めます。
- 配水支管の更新に合わせ、漏水防止に備え給水管の取替えを進めます。

具体的施策3-3-7 漏水調査の実施

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	92.1%	91.1%	91.6%	92.8%	91.4%					
関連業務指標	B112 有収率 %									

具体的施策3-3-8 塩化ビニル管路（VP）の布設替え

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

具体的施策3-3-9 給水管事故率の削減

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
関連業務指標										



漏水調査風景

(4) 施設更新財源の確保 【施策目標3-4】

実現方策	
●	アセットマネジメントを活用し、更新費用の平準化による計画的な整備を進めます。
●	管路の更新計画は、更新の優先度や管路の状況を考慮し、策定します。
●	耐震管は、耐用年数の長寿命化に効果があり更新を進めます。
●	ダクトイル鋳鉄管K形等は、耐震適合性を考慮して更新費用の削減を図ります。
●	施設更新の際には、適正な施設規模のダウンサイジングを検討し、コスト削減を図ります。



具体的施策3-4-10 アセットマネジメントによる更新事業の平準化 建設改良費5年間：平均5.2億円

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	4.6億円	6.5億円	6.3億円	3.7億円	4.7億円					

具体的施策3-4-11 管路更新率を0.5%以上とする財源の確保

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	0.64%	1.14%	0.82%	0.55%	0.47%					
関連業務指標	B504 管路の更新率 % 5年間平均0.72%									

具体的施策3-4-12 耐震管路の採用、良質地盤におけるダクトイル鋳鉄管路K形継手の更新期間延長

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

具体的施策3-4-13 ダウンサイジングによる改良資金の削減

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

(5) 地域連携強化 【施策目標3-5】

実現方策	
●	知多半島5市5町等においては愛知県水道用水供給事業より浄水の供給を受けて水道事業を運営しており、今後も「県水道南部ブロック協議会」で近隣水道事業者等との連携を図ります。
	● 広域化について、水運用における施設の効率化など、近隣水道事業者等と情報共有して、今後の方策を検討します。

具体的施策3-5-14 近隣水道事業者等との連携

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

(6) 技術力向上 【施策目標3-6】

実現方策	
●	水道技術の向上は、重要な課題であり、各種研修会への参加により、個人の資質向上・知識の確保に努めます。
	● 他市町との積極的な交流を図り、情報共有や技術見学会等の機会を持ち、多面的な技術継承を進めていきます。

具体的施策3-6-15 各種研修会への積極的な参加

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

具体的施策3-6-16 近隣水道事業者との技術講習会の実施

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
	←									→

(7) 環境保全 【施策目標3-7】

実現方策

- ポンプ場等の電気・機械設備の更新に際しては、省エネルギー型の機器を採用します。

具体的施策3-7-17 省エネルギー型機器の採用

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
関連業務指標										



インバータポンプの採用（青海山ポンプ場）



飛香台ポンプ場



松原ポンプ場

(8) 住民サービスに向けた取組 【施策目標3-8】

實現方策

- 水道事業への理解をより一層深めるために、情報公開を積極的に進め、市民サービスの向上に努めます。
- 水道料金の支払い方法を拡充して、お客様の料金収納の利便性の向上に努めていきます。

具体的施策3-8-18 ホームページによる情報公開

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

具体的施策3-8-19 お客様サービスの向上、デジタル化・ICTの推進

実施期間	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年

基本方針

安全

いつでも、どこでも、
おいしい水を
飲むことができる水道

施策目標

1-1 安全な水の提供

1-2 災害時の対策強化

具体的施策

1. 水安全計画の策定と見直し
2. 水質検査計画に基づく水質検査の実施
3. 残留塩素濃度の適正管理・管路のループ化
4. 直結給水方式導入の検討
5. マニュアルの定期更新
6. 地震対策マニュアルの定期更新
7. 水道施設台帳の整備
8. 関係機関との連携強化

強靱

被災を最小限に
とどめる
しなやかな水道

2-1 老朽施設・設備の更新

2-2 基幹管路の更新

2-3 重要給水施設管路の耐震化

2-4 応急給水体制の充実

2-5 施設規模の適正化

2-6 その他の災害対策

1. 熊野配水場、大曾ポンプ場、御林ポンプ場、大谷ポンプ場の設備更新
2. 老朽管路の計画的更新
3. ポンプ場の加圧区域の見直し
4. 久米配水区…基幹管路耐震化工事 基幹農道(φ300)はじめ4路線
5. 中央配水区…基幹管路耐震化工事 市道瀬木線(φ400)はじめ4路線
6. 熊野配水区…基幹管路耐震化工事 中央熊野連絡管(φ300)はじめ2路線
7. 重要給水施設管路耐震化工事11路線
8. 災害時重要給水施設への応急給水栓設置
9. 応急給水体制の検討
10. 熊野配水区域の検討
11. 熊野配水池(1,000m³)の廃止
12. 熊野配水場進入路の整備
13. 配水支管の耐震管路への更新
14. 軌道直下管路と水管橋の更新
15. 熊野配水場の監視カメラ(ITV)設備の導入

持続

健全かつ安定的な
事業運営が可能な水道

3-1 経営基盤の強化

3-2 適正な水道料金の確保

3-3 有収率の改善

3-4 施設更新財源の確保

3-5 地域連携強化

3-6 技術力向上

3-7 環境保全

3-8 住民サービスに向けた取組

1. 給水収益の確保
2. 建設改良資金の積立
3. 経常費用の削減
4. 窓口受付・検針業務等の民間委託
5. 適正な水道料金の確保(給水原価<供給単価)
6. 適正な水道料金収納
7. 漏水調査の実施
8. 塩化ビニル管路(VP)の布設替え
9. 給水管事故率の削減
10. アセットマネジメントによる更新事業の平準化
11. 管路更新率を0.5%以上とする財源の確保
12. 耐震管路の採用、良質地盤におけるダクタイル鋳鉄管路K形継手の更新期間延長
13. ダウンサイジングによる改良資金の削減
14. 近隣水道事業者等との連携
15. 各種研修会への積極的な参加
16. 近隣水道事業者との技術講習会の実施
17. 省エネルギー型機器の採用
18. ホームページによる情報公開
19. お客様サービスの向上、デジタル化・ICTの推進